

第3号  
2022.3

# ともに学ぼう

## 報告

- ・陸沢町学校運営協議会会議 ～アンケートの結果からみえてきた課題～
  - ・陸沢町地域学校協働本部 ～様々な場面で活躍するボランティアの活動～
- NEWS (紹介記事)
- ・中学生ボランティアの活動紹介

発行：陸沢町学校運営協議会  
陸沢町地域教育協議会

2つの協議会は密接に連携し、学校と地域が活性するよう取組を行っています。

## 陸沢町学校運営協議会

今年度は、5月に第1回を開催し、その内容については本広報誌第2号 ※1で報告させていただきました。

### 第2回 「児童生徒・保護者・教職員アンケート（前期）の報告」



10月29日に開催した第2回では、小中学校での児童生徒・保護者・教職員アンケート（前期）の報告があり、主な内容として、小学校ではアンケートの結果から「あいさつ」について、「自分からはっきりとあいさつはできている」と回答した児童が、90%となってい

ましたが、保護者の回答は75%でした。児童と保護者の回答に差があり、協議の中では、「児童は学校内ではあいさつをするが、学校外ではあまりしないのでは」などの意見がでました。これについては今後の課題として、取り上げていきたいと思えます。



また、中学校では教職員へのアンケートで「家庭学習の習慣が身に付くようにするための工夫をしているか」の回答が94%と高い数値でしたが、生徒・保護者のアンケートでの回答は生徒75%、保護者69%となっており、小学校同様、回答に差がありました。協議の中では、「教える側は教えているつもりでも、実際はなかなか身に付いていないのでは」との意見があり、教える側が自己満足せず、工夫を重ねながら指導していく必要があると中学

校が回答しました。

小中学校とも本会で様々な意見をいただき、今後の学校運営に反映していくこととなりました。

### 第3回の中止、第4回は3月実施予定

1月に第3回を予定していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。

第4回については、3月29日に開催予定です。内容については、「令和4年度の学校運営の基本方針の承認等」です。この内容については、本広報誌4号でお伝えします。

※1:本広報誌「ともに学ぼう」の2号の内容はHPに掲載しています。↓

学校支援ボランティアの募集内容などを掲載しています。



## 陸沢町地域学校協働本部

{ NEWS 紹介記事 / }

### 中学生のボランティアの紹介、各種生涯学習事業に参画しています♥

地域学校協働本部では、学習支援ボランティアが、子どもたちの学習の支援や、先生方の手伝いをするのが基本にあります。こうした地域との関わりを早くから知ってもらうため、中学生のボランティアを募集し、各種生涯学習事業等に参画しています。

令和3年度も募集しましたが、新型コロナウイルス感染症への対策により行事などの変更があり、実施も難しい中で、6事業、48名がボランティア活動を行いました。

特に新型コロナワクチン接種の予約や夏休み中の図書の貸出し事務、青少年相談員主催のデイキャンプへの補助、創作美術展時の会場整理、成人式の受付を体験し、地

域の方々からは称賛の言葉が多く聞かれました。

はじめはぎこちない様子でも、色々な人と話していくうちに、作業などの手順を覚えて、スムーズな作業になってきました。

親や家族、友達などと話すのではなく、初めての人と話すのは勇気のいることかもしれませんが、地域の方たちも中学生と話ができることを楽しんでいて、ともによい経験になっていると思います。



## 睦沢町地域学校協働本部

### ～ボランティア活動は 様々な場面で～

令和3年度のボランティア活動の概要を報告します。

まず、令和3年度の新規登録のボランティアは34名で全体では187名になりました。本年度末に各種ボランティアの名簿の見直しを行っており、次年度は、より効率的な運営ができるようにします。

### 環境隊

- ・小学校校庭の草刈りなど 5日実施
- ・桜の枝伐採 2日実施 ほか  
(ボランティア団体あうんによる)
- ・避難訓練用の看板作成、掲揚ポールの修繕
- ・外部スピーカーの点検、撤去



### まなび隊

- ・小学校2年生  
生活科「野菜の栽培 指導 補助」
- ・小学校5年生  
生活科「縫い物」  
総合的な学習「手話 指文字指導」
- ・こども園「おはなしの広場」  
本の読み聞かせボランティア「おはなしもこもこ」によるおはなし会  
※新型コロナウイルス感染症への対策のため、花壇やサツマイモの植え付けなどは中止となりました。

### 行事隊

- ・小学校5年生 「稲作体験」  
田植えは、4月20日に多くのボランティアが参加し実施しました。9月の稲刈りは、天候不良や新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりましたが、刈入れの模範を撮影し、動画を通じ学んだほか、稲を干す作業も一部行いました。収穫したお米は、学校の給食で提供したほか、交流のある新宿区花園小学校に送り、たいへん喜ばれました。稲の生育状況は、両校のコーディネーターを通じて情報発信しました。ともに活動できる日があるように継続していきます。

### 安全隊

- ・登下校・通学路の見回り  
通年を通じ見守りのボランティア実施
- ・スクールバスの乗車確認(登下校)



## 「千葉県地域学校協働活動推進員研修講座」に参加して

令和3年度地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)研修講座が、勝浦中学校で令和3年12月10日に行われ、勝浦市地域学校協働本部の活動が紹介されました。

開会の行事の後、勝浦市教育委員会と地域学校協働活動推進員の大屋和彦氏からの発表がありました。活動については、国際武道大学の参画、学校支援ボランティアの環境支援、安全対策の他、学校行事支援があり、「里育プロジェクト・ふるさと勝浦」として、地引き網体験、稲作体験、正月かざり(写真)が紹介され、その他、漁業での貯蔵庫の「マイナス30度の世界」や林業の「大森国有林の伐採・植栽」と、小学校での雅楽、フラワーアレンジメント、福祉体験が行われているということでした。勝浦の地域の素材を国際武道大学、千葉県立中央博物館分館海の博物館や文化会館の演劇ミュージカル、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の科学などと



### 地域コーディネーター 久保田 洋之

協働していることがよく理解できました。

成果と課題として、「地域学校協働活動をする人材が同じ目的をもって様々な分野から集まること。」「子どもたちの学びが多く体験から、『できる(わかる)』からその後の学習意欲につなげること。」「自分たちの活動が地域の人々の役に立っていること。」「学校支援活動の重要性を多くの市民に知ってもらうこと。」と締めくくりました。最後に中学校の校長先生から、「将来どのような人に育てるか」をしっかり持つことが大切で、生徒が地域に感謝し、恩返しをしたいと思ってくればという言葉がありました。

質疑応答でも、多くの質問意見がありましたが、睦沢はコミュニティスクール(CS)も進んでいて、このままの活動をしっかりと続けることが大切と感じました。また、近隣の町村の地域コーディネーターの活動も知ることができ、今後は研修や活動の意見交換などを行えるよう働きかけて行きたいと、思いました。

### 引き続き、ボランティアを 募集しています

#### 校内で児童を見守る活動 ボランティア(有償)

睦沢小学校では、早朝バスで登校する児童を受け入れ時や夕方のバス下校時刻までの児童の見守り、そして、バスへの乗車を確認する協力をボランティアの皆さんにお願いしています。

1週間1日朝だけ、夕方だけでも子どもたちの安心な登下校をサポートするために、令和4年度も引き続き、この活動に力を貸して下さる方、ぜひご連絡ください。

